

2020年10月29日

第13回大会開催について

学連 OBOG 戦運営委員会は第12回大会中止を決定した後、委員会の開催も中断していましたが、社会情勢を見ながら7月より再開しました。出席人数は少なめではありましたが、第13回大会開催に向けて準備を進めたいと願う意見が多数。また、2年連続の大会中止となると、これまで築き上げてきた OBOG 仲間の「絆」、「ネットワーク」および「コミュニティ」を維持し守っていくことへの影響も大きいため、With コロナの中、どのような形式だったら開催が可能なのかを議論してきました。

今回は通常の OBOG 戦の主旨に拘らず、例外的な考え方で取り進めなければ開催は難しいと捉え、レセプションはなし、無観客、お手伝い者も極力少なく、また出場選手も密にならない状況をイメージして考えました。そのために会場は東京プリンスホテルをお借りすることにし、YouTube での動画配信を行い、全国で大会を動画にて観戦できるように準備を進めています。

また学連の現役が練習会のみならず、試合の開催もままならない厳しい状況にあります。学連からの要望を受け、今回の大会内で今年度卒部する4年生のための競技も取り入れる方向で検討しました。

その結果として10月15日の運営委員会にて開催についての決議を行い、賛成多数で実施に向けて準備を進めることになりました。一方で With コロナでの考え方は様々です。開催に反対意見があることも事実です。いろいろなご事情でダンスを再開できない方も多数いらっしゃると思います。しかしこの厳しいダンス界に少しでも明るい話題を提供することも重要と捉え、このような状況の中でも知恵を絞り、できる限りの感染の予防対策をした上で開催準備をしたいと考えます。

今回は学連 OBOG 戦にとって最も重要である団体戦成績は参考値とすることにしました。これはエントリーについては自己責任判断で行って欲しいと考えたからです。議論を重ねた結果の結論です。

エントリーに付きましては一旦11月30日を締切日とさせていただきます。その後延長も検討しておりますが、準備を進める上でどの程度の出場者を見込むべきかの予測が難しく、出場の意思をお持ちの方はそれまでにエントリー作業をお願いしたいと考えています。

以上、皆様にご理解いただければ幸いです。

運営委員会 委員長

S57年明治学院大学卒 繁田徹